

質問者



亀井隆典 議員

Q

子供の安全連絡網について

A

メール配信も一部実施

問

政府は、犯罪から子供を守るための対策、子供の安全に関する効果的な情報共有の推進などを決めました。それを受けて、松前町の教育委員会・学校はどのような対策を講じているのか。その中でも特に情報の共有についての対策はどのようなものかをお尋ねします。

保護者・家族に対しての連絡には緊急を要するものからいろいろな連絡事項がありますが、連絡方法、連絡件数を種類別また緊急性別に説明を求めます。

答

赤星教育長

子供安全対策として、地域、団体、警察等の協力を得て子供見守り隊や安全マップ作成などの活動による安全点検を行っております。また、すべての学校において防犯教室の開催や新入学児童への防犯ブザー、防犯笛の配布も継続して行っております。

保護者への連絡は、一般的なプリントの配布と

学校や校区の様子、注意事項を連絡する生徒指導情報の発行を行い緊急連絡については、緊急連絡網による各家庭へ電話による対応としています。

なお、メール配信による緊急連絡網は、本年松前中学校がいち早く取り組み、現在3分の1の家庭が登録し、不審者情報や学校からの緊急連絡を受信しています。また、システムは伊予警察署のメール配信にも登録して、情報の提供を受けています。



す。

連絡件数ですが、多いところで小学校は12件、そのうち緊急連絡は1件、中学校では11件で、うち緊急連絡は6件となっています。また、幼稚園では緊急連絡が1件、保育所では連絡表により役員を通じて各保護者に連絡をする方法をとっていますが、緊急連絡については直接保護者に連絡をしています。

問 生活道路問題

生活道路の改修舗装は何を基本に、そして基準に行っているのか、説明を求めます。

今まで地域の要望によって道路の新設や改修・補修を行っているという答弁が出ますが、生活道路の改修は住民が希望してもなかなか進んでいないのが現状です。

道路事業を実施し決定する場合、その道路の効果を評価して事業実施をしているのか。町内にある町道や農道、そして生



生活道路

活道路などの舗装改修基準を作るべきではないかと考えます。

特に、生活道路については改修の要望を上げても要望が届かない現実がありますので、明確なる答弁を求めます。

答

緊急性・重要性・効果を総合的に判断

白石町長

生活道路については、明文化した基準はありません。しかし、いろいろなところからさまざまな要望があります。それらを取りまとめて、実際にそ

の要望のあった場所がどういう利用状況にあるのか、実際に現地を見て、その傷みぐあいや、周辺の人たちのご意見、緊急性、重要性、改修による効果などを総合的に判断して、順番を決めて補修に当たっているところです。基準を設けるという考えですが、確かに内規・目安・基準などは必要だと思えます。

これまではどうしても県道や町道を優先的に改修していますが、生活道路と言われる道路についてもこれからできるだけ改修をしていくべきだと考えています。